

## 【キューバ医療情報 6 月分】

6 月 1 日

キューバにはサル痘や原因不明の重症急性肝炎の症例は報告されていない

保健省ホームページ

キューバでは、サル痘と子供の原因不明の重症急性肝炎の 2 つの病気について追跡され始めている。サル痘に似た皮膚病変を持つ患者について検査され、すべて他の疾患であることが確認された。また 31 名の肝炎の子供たちについて検査され、すべて原因不明の重症急性肝炎には分類されないことが確認された。

6 月 4 日

キューバでは人口の 90% がワクチンを接種している

Granma

キューバの人口の 90% はすでに COVID-19 に対するワクチン接種が完了している。これは 9,966,280 人が良好な免疫を保持していることを意味する。

保健省によると、キューバ製ワクチンである、フィンレイ・ワクチン研究所のソベラナ 02 とソベラナ プラス、遺伝子工学・バイオテクノロジーセンターのアブダラで合計 37,394,674 回の投与が行われている。

これらのワクチンを少なくとも 1 回接種したのは 10,672,104 人で、そのうち 9,411,243 人がすでに 2 回接種し、9,112,459 人が 3 回接種している。

6 月 28 日

キューバの 6 つの県で Dengue 熱の伝播が報告される

Granma

ネッタイシマ蚊とそれが媒介する感染症を制御するための強化運動に関する情報がホセ・ポルタル・ミランダ保健大臣によって報告された。

現在、全国 6 県、10 市町村、17 保健所管轄地域で Dengue 熱が伝染していると注意喚起された。サンクティ・スピリトゥス、オルギン、サンティアゴ・デ・クーバ、ハバナ、ラス・トゥナス、カマグエイの各県で、蚊の繁殖駆除の強化について強調された。